

5 牛の皮膚腫瘍（牛白血病）

機関名：豊橋市食肉衛生検査所

氏名：福田 和弘

動物名：牛 品種：交雑種 性別：雌 年齢：25ヶ月齢

病歴：不明

生体所見：両眼球が突出し、上眼瞼は肥厚し出血を認めた。また、背部から腰部にかけて手拳大の腫瘍が数ヶ所確認された。

内臓所見：皮膚の腫瘍は淡赤色を呈し、断面は黄褐色充実性で出血がみられた。上眼瞼は乳白色充実組織から成り、眼窩より隆起し、眼球を圧迫していた。子宮は右子宮壁が2cmほどに肥厚し、断面は乳白色を呈していた。左肺後葉背面の辺縁に3cm×2cm×2cmの乳白色結節を認めた。心臓は右心耳の一部が内膜面より突出して腫瘍を形成し、断面は乳白色を呈していた。下顎リンパ節、耳下リンパ節、咽頭後リンパ節は充実腫大していた。脾臓は暗赤色を呈し濾胞は明瞭であった。他の臓器等には著変を認めなかった。

血液所見：WBC $8.60 \times 10^3 / \mu\text{l}$ RBC $5.89 \times 10^6 / \mu\text{l}$ HTC 25.0%

大型で幼弱なリンパ球様細胞を多数確認した。寒天ゲル内沈降反応によるBLV抗体は強陽性であった。

組織所見：皮膚の腫瘍には大型で円形から多角形の腫瘍細胞がび漫性に増殖し、一部の腫瘍細胞はマクロファージによって貪食されていた。腫瘍細胞は細胞質が乏しいリンパ球様の細胞で異型性が強く、陥凹した核や二重核をもっているのもみられた。また核分裂を高頻度に認めた。

腫瘍組織は骨格筋に高度に浸潤し、骨格筋との境界は不明瞭であった。腫瘍細胞の著しい侵襲により、横紋筋線維は圧迫、萎縮していた。

固定方法：10%中性緩衝ホルマリン

行政処分：全部廃棄

組織診断名：悪性リンパ腫

疾病診断名：牛白血病（成牛型）